

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なでしこデイサービスセンター		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	138名	(回答者数) 94名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日		～ 2025年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・心理士（公認心理師・臨床心理士・臨床発達心理士）による個別療育を行い、心理的な発達に応じた支援をしている。	・子どもの発達を心理的な側面から客観的に見て、「自己肯定感」や「愛着形成」に係るプログラムを組んでいる。 ・必要に応じて発達検査や視知覚検査を実施し、子どもの特性に応じた関わりをしている。 ・個別療育の担当者を固定し、子どもや保護者と信頼関係を築きやすくしている。	・専門的支援計画書を作成し、より客観的な評価やアセスメントを行い、「子どもの強みを活かした支援」、「弱みに対する環境調整や配慮」が行えるようにする。
2	・保護者同伴通所を行うことで、保護者の子育てに対する不安や困りごとを相談しやすい場になっている。	・保護者に療育中の支援場面の観察や参加の機会を提供し、子育ての参考にしてもらっている。 ・療育の状況をフィードバックしたり、保護者の子育てに関する困りごと等に適宜アドバイスしている。	・年1回程度開催する「おしゃべり会」以外に保護者同士が気軽に話せる場づくりについて検討する。
3	・園訪問や学校訪問を行い、園生活等がスムーズにできるよう、関係機関と情報共有している。	・子どもの集団生活の様子を把握することで、個別療育の成果や課題を見つけ、次の療育に活かしている。 ・関係機関と顔見知りの関係をつくり、相談・連携しやすい環境にしている。	・自立支援協議会子ども部会の活動を通して、教育委員会や福祉課との連携を強化し、地域の課題が解決できるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・集団活動で子どもの交流による成長を促す機会が少ない。	・個別療育中心なので、集団活動の機会が限られている。	・小集団を含め子ども同士が交流できる機会を増やす。 ・個別療育で培ったスキルが集団活動で活かしているかを検証し、個別療育にフィードバックする。
2	・HPやSNSによる発信が不十分で、子どもや保護者に必要な情報が届けられていない。	・HPは法人本部の管轄になっており、事業所として機能を使いこなせていない。	・情報発信の方法を法人本部と検討し、保護者や子どもに情報が伝わりやすい環境をつくる。
3	・子どもや保護者に非常時等の対応（緊急時・防犯時等）について周知・発信ができていない。	・契約時や支援計画作成時のみの説明に留まり、周知・発信する機会が少ない。 ・個別療育なので、利用者全員で対応訓練をすることが難しい。	・各種マニュアルを再確認し、年度始めに保護者に周知する。 ・各種マニュアルは保護者が閲覧しやすい場所に置く。 ・各訓練を実施する場合は、掲示板に表示する。